SUNDAY, AUGUST 19, 1928 NO. 10348

The Japanese American News

昭和三年八月十九日【日曜日】第二万三百四十八號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 256
ENTERED AS S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ANKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.80
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES ..... 5 CENTS

日米 満蒙問題と日本の苦境

◇

所謂北伐の成功、張作霖の爆死つゞいて以來、滿蒙の空は縮次風雲低しくなつて來てゐたが、つひに外蒙古軍隊は突如黑龍江領より南下しつゝあつて シベリア鐵道が不通となり電信電話が破壞されて通信が不可能となつたら傳へられる。その背後には勞農政府及び憑王祥のものゝ眼まれてをり、この蒙古の侵入について同地方に多くの利害關係をもつ日本の無關心は大いに注目を惹いてゐるさうである。

△

それでなくとも滿蒙問題が國民政府との交渉が圓滑を缺きあつさへ、米國の態度さへ非常な苦境に立ち至つてゐるのである。そこへ以て來て、勞農政府の無遠慮なる活躍で日本の氣をいらだたせるこゝ一方ではない。元來この滿蒙問題は日清日露の兩戰後、米國ハリマンの憑動、ノックスの滿鐵中立案、錦愛鐵問題、勞農政府の四國、六國借款團、第三インターナショナルの活躍、華府會議の對支要求等の續發した事件が引續き起つてをり、我が日本の對滿外交は苦しいことばかりであつた

◇

この間に處した我が對滿外交は常に一貫した方針がなく、その場の場のがれの編縫策にすぎなかつた、殊に華府會議の結果、極東禮讓の美名の下に我が滿蒙における特殊の權利、地位、特殊の利益をぐらつかせたのであつた、「張作霖は死んだ、日本は滿山由兵すると、必ず日露戰爭も遠くはあるまい」と同地にゐる外人達が觀測だと傳へられる今度の蒙古の北滿侵略によつて段々ここの氣運が濃厚ならしめられやうが日本がたゞ武斷的外交を用ひうと至らなくともまだ苦しい立場に置かれてゐるわけである

◇

御大典紀念事業

御即位の御大典もだん〳〵近づいて來たので在外の同胞もそれ〴〵の地方に於て御盛儀を奉祝すべく奉祝會は勿論紀念の意味の獻上、紀念事業の計畫などを續々發表されてゐるが、紀念事業については各地ともに種種の計畫もあるやうだが有意義にもつとも望ましいのは學童の成績品展覽會であらうと思ふ。學校當局者は此點に於てはその準備に着手し十月初旬より中旬まで各府縣において開催し更にこれを東京の中央本部に送附し御盛儀の十一月初旬より約一月間、帝都において催し成績品に對する審査授賞式上品選定等を行ふさうである。吾々在留同胞も亦その如き紀念事業を擧げて各地方において地方展覽會を催しその後桑港に集め更に東京に送るやうにしては如何のものであらうか紀念事業として非常に有意義なる紀念事業となるのである。また他にも有益な事業等もあらば之れこれをも確に面白い計畫の一つであると云つてよい

——◇——

本社東京特電 十八日午前十時半着

北滿洲擾亂事件に就き 外務省經過報告を發表す

在留同胞五千名消息全く不明

呼倫貝次が事件の中心策動地

最近黑龍江省邊境に起つた外蒙古侵入事件につき外務省にては左の通り事件經過を發表した

北滿在留邦人 五千名の安否不明

蒙古軍出沒自在を極む

滿蒙衝突事件後報

ハルビン十七日發電によれば、今回の外蒙古軍の北滿侵入は外蒙古勞農政府が呼倫貝次（滿洲里南方北滿鐵道沿線の要地）をば併合せんとし奉天政府より拒絶さるゝや、蒙古青年黨の騎兵隊が蹶起し武力占領を企てたによるもので、防備の支那軍と衝突し支那軍敗退し、蒙古軍は快速を利用して變幻出沒五千名の安否は全く不明である

北清鐵道不通

滿洲里行き特別列車（シベリア鐵道連絡）は十五日終發でその後運轉不能におちいつた

北滿在留邦人 五千名の安否不明

蒙古軍出沒自在を極む

滿蒙衝突事件後報

ハルビン十七日發電によれば、今回の外蒙古軍の北滿侵入は外蒙古勞農政府が呼倫貝次（滿洲里南方北滿鐵道沿線の要地）をば併合せんとし奉天政府より拒絶さるゝや、蒙古青年黨の騎兵隊が蹶起し武力占領を企てたによるもので、防備の支那軍と衝突し支那軍敗退し、蒙古軍は快速を利用して變幻出沒五千名の安否は全く不明である

泥棒の相棒を務める 不埒な警視廳當局

市議板舟疑獄で舊惡暴露

刑事部長賄路を取次ぐ

東京市魚河岸板舟權確保條案につき收賄した醜惡な贈收賄事件に關連して警視廳捜査二課の手で取調べ中であつたが、曾て大問題となつたギヤス會社疑獄當時警視廳の保田刑事部長が仲介してギヤス會社より三木武吉へ四十五萬圓出し、革新を切崩し西久保市長追出しの陰謀をやらした事を聞き込んだ警視廳捜査二課では、昨朝の臺風襲來の際を狙ひ水産製糖社長横晉氏外重役連を東京檢事局に召喚取調をうけた事件は神戸鈴木商店と關係の背任行爲ではいが取調べ續行中である

新たに生れた 左翼の新陣營

「無產大衆」の今後

（東京通信）

勞農黨の無殘に碎かれてから凡そ百日目に「無產大衆黨」の新生を見ることになつた。ふたゝびこに左翼の陣營が遊られたわけだが「大衆黨」の出現をもつて、ただちに勞農黨の更生と見るのは當らない。勞農黨の綱領を守る連中を極左翼とすれば、大衆黨はたゞの左翼である。それゆゑにこそ、政府も大衆黨——極左ではないにしても物騒な左翼無產黨の誕生を妨げなかつたのであらう。現に舊勞農系から官許黨、惡口をいはれてゐる大衆黨は、その連の思想的立場を取り、今後いかなる役割を演ずるかを知るには大衆の新旗幟を掲げた「人」を見るのが一番の早道である。

▲

ひとロにいへば、大衆黨發祥の策源地は雜誌「勞農」による一派であつた。極左翼と同じマルクス主義を標ぢならが福本一派とその解體を異にしさりわけ、わが資本主義の現狀に對する見解において、またつたく相容れぬために、勞農黨中に入らず、いはゞ埒外から內側の福本一派と常に理論の鉾を交へ、機あらば勞農黨の指導權を握る福本一派の幹部に取つて代らんとしつゝあつた。この「勞農」

▲

「勞農」一派がさうしてこの機を見のがすものか、今回の旗あげとはなつたわけであるが、山川均氏この際表面に立つのは不適當だから無產大衆黨誕生の立役者を引き受けたのが藻茂人——實は鍋山貞親君記者長に乘り出した鈴木茂三郎君に外ならぬ

鈴木君は十數年前に早稻田を出て來米後に渡り勉强中に思想目覺麗、坊つちやんらしい氣分かけによらず闘志の盛んなこゝでは勞農黨の細迫書記局長よく似てゐるが、細迫君よりはもつと地味な人だから活動家の書記長に打つて付けの女房役であらう

▲

大道君は北海道その他話題を放浪した揚句、東京市の道路工夫になつて聞もなく東京市從業員組合を組織した男でその細委員長になつてからもまだ纏まりをかついで出掛けたものである。勞農黨の常任委員であつたが、若いマルクスボーイと調子が合せるには少し年をとりすぎた大道君が異分子として福本一派の幹部から詰腹を切らせられた新勞農黨解散の前後に勞農黨の新人會のリーダー、勞農黨の財政部長に推されてゐながら、鈴木一派とは、さかくきな力をそへるであらうことは想像に難くない

▲

鈴木君は十數年前に早稻田を出て來米後に渡り勉强中に思想的轉向にあひ、變革直後のロシアを經て歸國の後、いつもマルクスボーイと調子が合せるには少し年をとりすぎた大道君が異分子として福本一派の幹部から詰腹を切らせられた新勞農黨解散の前後に勞農黨の新人會のリーダー、勞農黨の財政部長に推されてゐながら、鈴木一派とは、さかくきな力をそへるであらうことは想像に難くない

總工會 解散命令

支那國民黨內部の不穩

北京十八日特電によれば共產黨員の動靜監視を理由に「解散」を命ぜられた、總工會は自發的にしばらくその事務を停止することゝなつたが指導部には依然解散命令と戰ひ抗的に出るやうな不穩な模樣なく昨日幹部協議の結果近く宣言書を發表してその態度を明かにすると

床次氏の第三黨 議會前には卅名

獲得易々と新黨囁く

對支問題の了解を求めに 博士に渡米交涉

床次竹次郎氏の第三黨組織につき參加踏躇者の態度決定と漸次促進され二十五名の數を得ることは4早確實となり、これを基礎として二十日すぎより一般初の組織的に各方面に對し參加勸誘を開始し、同時に床次氏自身は全國各地を遊說し

第三黨樹 立の必要を說くことになつてゐるから

眞相の解明と共に參加者は更に多數にのぼる見込で議會前には少くも三十名を擁し兩大黨の間に介在して議會を左右するキヤスチング、ボートを握る實力を持つことは敢て難事ではない、新黨側は見てゐる

おらは兜をぬぐ 新渡戶さん行っちよくれ

對支問題の了解を求めに 博士に渡米交涉

對支問題滿洲問題につきアメリカ國民の理解に求めるため政府は新渡戶稻造氏に白羽の矢を立て渡米を交涉したが、對支問題滿洲問題につき收賄せざる議員は全部の潔白を立證するを條として十八日午前十時より市會議室に集まり、町治神官に參拜することを誓したが、會するもの

二十三名 まるで蛙の集團の 東京市議の醜態

自稱潔白議員の自稱する 身の明りさはこんなもの

東京市魚河岸板舟權確保條案につき收賄せざる議員は全部の潔白を立證するを條として十八日午前十時より市會議室に集まり、町治神官に參拜することを誓したが、會するもの

二十三名 まづ深川區選出太田傳次郎氏座長席につき

相談會を開會したところ、赤坂區選出大野富太郎氏は、かゝる巡動は

實名的で 市會議員の權威に關する故不賛成だといひ

出し小石川區の森脇派三郎氏はいまこゝに會議してる議場中にも魚河岸から

五百圓貰 ふたものがるゝ叫ぶ傍聽席の中から、

「太田がそれだ」と彈次つたものがあつたゝめ太田市議憤慨して、これに應じ議事はたちまち

罵詈冷笑 の渦まき化し、太田と飯田蒼白となつて

つひに爲すところを知らず混亂狀態に會議は流れてしまつたが太田傳次郎氏は名譽毀損の告訴をするといきまいてゐる

中學優勝野球は延期

全國中學校優勝野球大會は今日より準決勝戰に入るはずであつたが雨のため延期組合せは左の通り發表する

松本商業 對 高松中學

北海中學 對 平安中學

なお昨十七日の勝負は左の通りである

平安（中）四A對三 甲陽（中）

神田銀行破產を宣告

東京神田銀行は破產を宣告された

大師詣で殺しは 夫の所爲と判明

情婦の身受けに妻の保險 に目をつけた人獸的犯行

神奈川縣鎌倉郡見在草原にて妻子供三名を殺した犯人は夫佐伯作造の行爲と判明した、情婦を泥水稼業より身受けするための金に窮し妻の保險金に目がくらんで、この兇行に及んだものだいふ

石油節約のため 世界會議開催か

蘇格蘭三大巨頭會議

（ロンドン合同特電）イブニングスタンダード經濟記者の觀想によれば近くロンドンにて世界石油消費節減會議が開かるる模樣にある、會議の成否は一つに目下スコットランドにて熱中の三大石油王ヘンリー、デイターディング、ウオルター、テイーグル、ジョン、カドマン三氏の意見に掛つて居り、ディターディング氏はロイヤル、ダッチセル會社々長であり、デイーグル氏はユーゼルシーのスタンダードオイル會社々長であり、ジョン、カドマン氏はアングロパーシアン石油會社の社長であるイブニングスタンダード紙の所報によれば、この會議開催にはほゞ全部決定的であり目下スコットランドにおける二大巨頭會議の內容は極秘にされてゐるが、三大巨頭の議論の中心はアメリカにおける石油戰を如何にして停止せしめることが出來るか如何なる方法をもつてすれば全世界石油業者をして節約を確認せしめ得るかにあると

臺灣總督 天機奉伺

政務奏上

川村臺灣總督は十七日夜八京十八日朝東御用邸に伺候し陛下に拜謁を給はり、臺灣の政務につき委細奏上した

節子さん 五湖巡り

大使夫妻同行

（華盛頓特電）大使夫妻は十八日朝ポートランドに着し、ポートランドにて一泊し、スポケーンに向ひ、スポケーンにて一泊し、ミネアポリスに向ひ、ミネアポリスにて一泊し、デトロイトに向ひ、デトロイトにて一泊し、クリーブランドに向ひ、クリーブランドにて一泊し、ワシントンに向ひ、ワシントンにて一泊し、ニューヨークに向ひ、ニューヨークにて一泊し、ボストンに向ひ、ボストンにて一泊し、ニューヨークに向ひ、ニューヨークにて一泊し、ワシントンに向ひ、ワシントンにて一泊し、シカゴに向ひ、シカゴにて一泊し、ミルウォーキーに向ひ、ミルウォーキーにて一泊し、ミネアポリスに向ひ、ミネアポリスにて一泊し、スポケーンに向ひ、スポケーンにて一泊し、シアトルに向ひ、シアトルにて一泊し、ポートランドに向ひ、ポートランドにて一泊し、サンフランシスコに向ひ、サンフランシスコにて一泊し、ロスアンゼルスに向ひ、ロスアンゼルスにて一泊し、サンフランシスコに向ひ、サンフランシスコにて一泊し、ソルトレークに向ひ、ソルトレークにて一泊し、デンバーに向ひ、デンバーにて一泊し、シカゴに向ひ、シカゴにて一泊し、ニューヨークに向ひ、ニューヨーク

ジョンソン議員が排日暴行を非難す

既往の外人には公平な待遇 先日タコマの會合で聲明

(桑港電報) 新移民法の起草者で惡度には反對するがしかも自分はすでに米國へ入國して生活しつゝある外國人に對しては公平なる待遇をなすべきであるといふ確信をもつてゐる。從つて先般のコペルス事件の非暴行の非を責め政府の力によつてでもこの事件を徹底的に解決せねばならぬむねを聲明し、必要ならば中央政府の力を借りてもよいと思ふ」と述べた。

東洋間 就航の汽船にシアトル號と命名

(桑港電報) 太平洋沿岸日會協議會にては一六日午前十時から地同胞商賣に關する件

沿岸日會協議會 十六日から開催さる

四個日會の代表者

(桑港電報) 太平洋沿岸日會協議會にては一六日午前十時から地同胞商賣に關する件

稍成功

努力の結果

加州で養蠶

加州大學の擴張 四百萬弗で新校舍も

寄附金による校舍

翁六溪新著 出版記念會 (一)

日本文壇の中樞人物 五十餘名の發起にて

在米同胞に意義ある一新著

富田清萬

百六十萬弗 賠償要求

ダム決潰罹災者 羅府市を相手に

日本に革命が必要

支那學生年會で勝手な熱

絹紬市況 見直し

輸入漸減で

東洋人系市民に對する米國旅行障害除去

ホノルル移民局から市民權證發給 從來の面倒がなくなる

共勵會員 親睦會

船中で死亡

日米要求

人事欄

物件欄

加州歯科醫師會

桑港防長旅館

桑港旅館組合

大正藥舖

日本郵便

DOLLAR STEAMSHIP LINE

大阪商船出帆

N. Y. K. LINE

桑港出帆廣告

庄司氏團長の南加野球團歸桑

二ヶ月の旅を了へ一行何れも大元氣

十五勝十二敗の成績で

庄司吉彦氏引率の南加大學野球團一行二十名は、日本人が團體で日本へ遠征した最初の例として、一行は、去る十日桑港着のさいぺりや丸にて歸米した。一行は、いづれも大元氣で、英字新聞記者達の包圍攻撃をうけながら、上陸をしたが、午後一行の代表者ならびに團長庄司氏は本社を訪問し挨拶することゝなつた。庄司團長は日本における一行の戰績ならびに一行の行動について左のごとく語つてくれた。「五月九日太洋丸で日本に赴き、二ヶ月半を内地ならびに朝鮮滿洲で過ごし、その間野球試合の回數廿七回で十五勝十二敗の成績を納めて歸米しました。勝敗の成績よりも、試合の結果と經濟上の成績はあまり好くなかつたが、しかし學生一行の受けた日本印象と日本に與へた學生行動は物質にかへられない多大の收穫を得たことゝ信じます。ここに日本人が團體で日本へ遠征した最初の例として、一行は、日本着當時は非常な面白をほこした次第であります。なほ一行は日本着當時は風邪猛威の爲め一行中數名の病人を出しましたが、ホテルで日本着そうそう

農業と經濟

本年の新米
成熟が十日程遅たれ

本年は仕付けが遅れたのと氣候の關係で昨年に比し成熟が約十日間遅れた。コルサのパーチ及びホワイト氏米は百四十俵加州は來る廿日より收穫を始むる由、これに前後してポタール收穫がまるから納米が吾人の食膳に上るは九月の始めならん　尙値段は精米所は早物に對しての位までに買ひ運むか知れざるがグローのアイデアは百ポンドサック三弗二十五仙位を希望しているらしい。

▲アップルの出荷數　アップルは目下出盛りであるが全米を通じ一昨十六日出荷せるもの左に

アーカンサス一貨車、北加一七中加一一、デラウエヤ四、イリノイス九、ニューヨーク一一ミシガン七、ミゾリ七、ニューゼーシイ三、ニューメキシコ一、オレゴン二、ペンシルベニヤ一、バージニア三四、ワシングトン四、西バージニア七、ウエスコンシン一、合計百二十四貨車

▲アニオンの出荷　一昨十六日全米のアニオン出荷數左の如し

北加三八貨車、中加一、南加二イリノイス四、インデアナ三、アイオワー二、マサチユセツ二三、ミチガン一、ミゾリ一二、ニューヨーク一、ニューメキシコ一、ペンシルベニヤ一、テキサス二、バアモント一、ワシングトン二、ウイスコンシン二合計百二貨車

▲目下加州として出荷多きもの　目下加州として出荷多きものを擧ぐれば　カンタローブ一一、グレープ一六八　レモン六一　メロン類の七八　ピーチの二八　ペヤー七六　ポテトの二九、レタスの四八貨車等にある

桑港市場
八月十八日

アップル依然として不活潑、ストロベリ、ラスベリ竸れよくドロップで十仙方ある、プラクベリあがらざるも強調、カンタローブ出荷は多くないが勝貴を見ず、グレープス活氣なく竸れず、足スローナス活況を呈しラグで野菜類　廿仙方ある、アニオンまた強し、ピー上物強く十仙より六仙に取引きせらる、ペパー出荷多く値段さがる、本日の着荷貨車

アップル二、カンタローブ五、レモン二、グレープフルーツ一、ピーチ一、ペヤー二、ウオータメロン一、ベリ類九三クレーツ六九一チエスト、セロリー、アニオン四、外にトラクで各種

桑港市場
果實類相場

（アイス）（四―五打）三、〇〇　（六打）二、〇〇―二、二五
▲アニオン　グリン　ラグ　〇、七五―〇、九〇　ドライ　イエロー　一、六〇―一、七五　ラグ　〇、一〇
▲ピー　封度　〇、〇六―〇、〇七
▲ペパー　グレーツ　〇、七五　袋　〇、九〇
▲ポテト　袋　スタクトン　一、〇〇―一、三五　ガーネット　一、二五―一、七五
▲スピニチ　封度　〇、〇四―〇、〇五
▲スコアシスカロップ　ラグ　〇、六五―〇、八〇
五　イタリアン　〇、五〇―〇、六〇
▲甘ポテト（斤）上等　〇、〇三五　下　〇、〇二五―〇、〇三五
▲トメト　ラグ　〇、七五―二、二五　小ラグ　〇、七五―〇、八〇
▲サック野菜　キヤロツ　袋　〇、七五―一、〇〇　白ターニップ　袋　〇、八〇―一、〇〇　黄同上　一、一〇―一、二五　ビーツ　袋　〇、七五―一、一〇

桑港類相場

▲アーチチョーク　グラ　二、〇〇―二、五〇
ビンズ　ケンタキーワンダー　〇、〇三―〇、〇四　ブルーレーキ　〇、〇四―〇、〇五
ラデシュ　〇、二五―〇、三〇　キヤベヂ　〇、九〇
▲カリフラワー（打）　〇、七五（クレツ）〇、七五
▲セロリ　クレーツ　二、〇〇―三、〇〇　ローカル　一、五〇―二、〇〇　袋一、〇〇―一、五〇　コールプーツ　〇、七五
▲キウリ　ラグ　〇、五〇―〇、六五　ビツクルス　上等　〇、〇四　下等　〇、〇二―〇、〇三
▲ナス　ラグ　〇、五〇―〇、六〇　封度　〇、〇五
ガリック　〇、七五
▲レタス　クレーツ　一、〇〇　プーア　〇、六〇

世紀の夜
生活の渦　（五）

尾崎士郎作　【百六十一】

その言葉は、しかし彼の女の小さい魂をつよくうつのめりよりも前に、烈しい憤りを呼び起した。それは自分を裏切った憎むべき男に對してばかりでなく、自分の一生をもろくも損りつづけようとしてゐる見ねいカに對してよりも、その裏へ出た姿は、何時の雲のやうに自分たち一家の上に襲ひかゝらうとしてゐる運命の力に對してであつた。

何でもないわ、――もうみんなすぎ去つてしまつたことぢやないの。

彼の女はそつと頬に手をあてゝみた。すると冷めたいねばつこいものが指の先にふれた。彼女は自分が泣いてゐるのだといふことに始めて氣がついた。風呂場の水がざわ――つよくなつてゐる音が泌々とほのやうにひゞいてきた。

電車は何臺となく彼女の眼の前をすべつていつた。停留場には三人の人が窓模様を氣にしながら氣ぜはしさうに立つてゐた。電車のとまるごとに立つてゐる人の顏は入り替はり立ちかはり新しくなつたが、しかし、誰も神樣にもたれてゐる美和子に注意するものはなかつた。

門の前にしやがんでゐた夕刊賣の少年が、腰れのこりの新聞をかゝへよ――と砂塵のやうに起つて來た。

彼女の頭には此によりすがつてゐるやつれた母の顏がうかんだ。その裏へはたゞ、何時もならば思ひだしたゞけで彼女の胸に新しい勇氣を喚び起すのであつたが、しかし今は、――何もかも、――うるさだ。何もかもが火照つた額の上に落ちてきた。可愛さうな美和子よ――さ、あゝ今は、その悲しい姿すらも彼女の心からあまりに遠くへ離れてしまつてゐるので――

彼女の頭には此によりすがつてゐるやつれた母の顏がうかんだ。その裏へはたゞ、何時もならば思ひだしたゞけで彼女の胸に新しい勇氣を喚び起すのであつたが、しかし今は、――何もかも知つてゐるに違ひないわ。――さ彼の女は思つた。何もかも。――さうだ。何もかもが火照つた額の上に落ちてきた。可愛さうな美和子よ――さ、そしてあの男はきつとわたしのことを憐れんでゐるにちがひないわ。――

彼女の頭には此によりすがつてゐるやつれた母の顏がうかんだ。その裏へはたゞ、何時もならば思ひだしたゞけで彼女の胸に新しい勇氣を喚び起すのであつたが、しかし今は、――何もかも。――さうだ。何もかもが火照つた額の上に落ちてきた。可愛さうな美和子よ――さ、そしてあの男はきつとわたしのことを憐れんでゐるにちがひないわ。――

彼女の頭には此によりすがつてゐるやつれた母の顏がうかんだ。その裏へはたゞ、何時もならば思ひだしたゞけで彼女の胸に新しい勇氣を喚び起すのであつたが、しかし今は、――何もかも。――さうだ。何もかもが火照つた額の上に落ちてきた。可愛さうな美和子よ――さ、そしてあの男はきつとわたしのことを憐れんでゐるにちがひないわ。――

彼女の頭には此によりすがつてゐるやつれた母の顏がうかんだ。その裏へはたゞ、何時もならば思ひだしたゞけで彼女の胸に新しい勇氣を喚び起すのであつたが、しかし今は、――何もかも。――さうだ。何もかもが火照つた額の上に落ちてきた。可愛さうな美和子よ――さ、そしてあの男はきつとわたしのことを憐れんでゐるにちがひないわ。――

一年ぶりで
中加を見舞ふて（三）
何と謂つても地盤が固い

川島天涯

今年のレーズン生産過剰を救ふためにはミラー案の收獲減策やプール案もあるがいづれも時機遲く、良案ながら實行不可能である故にこれらは此の孤のキャンペンに餘り重きを措かず、さつさと自分の品を優良に仕あげ、さつさと賣買ある毎に賣る算段をすることである。

▷レーズン會社が今年の組合員持込み品に對してされだけは滿たに疑問で、今の場合九百萬弗の負債持越品を抱へてゐるアドヴアンスを拂ひ得るやは會社に進んで銀行團が新たに金を貸す筈がなく、餘程よくいつて先づ一俵二屋五毛であらう、生產者はそのつもりで餘程利口に立廻らねばならぬ。

△然し中加で土地を買ふのは今で永住策を建るのも今である。全盛時代に千七八百弗もした最上の葡萄畑がいまでは英加二百五十弗位で樂々と手にいる、或植込みのない肥沃地は僅に五十弗位で買へるのであるから、子供持ちの人々はその永住策第一歩としていまのうちに安い好い土地を買おくのがよからう。中加も遠からず一度の全盛時代が來るであらう。あゝ本當に不景氣は纏かぬいまに葡萄園が自然陶汰を受けて好い按排に調節され時は葡萄の市價騰り、中加の地價ものがる時である。

△葡萄タイムになるとフレスノの日本人町は人をもつて埋まるの騷ひで今年も人は相當にいりこみをりタウンは繁昌してゐるが年昔のフレスノの町は大分面影が變つてゐるのに眼がつく。十年昔はブランケットを擔いだ血氣の我が勞働者が群をなして日本人町へ集いてゐる顏があつたが今は邦人の面影を漸く、その代り比島人やメキが時を得たり顏に街路を濶歩しこの邊一帶小日本の如くに街路を落いてゐるのには何となく淋しい感じがする。あゝ本當に不景氣は纏かぬいまに葡萄園が自然陶汰を受けて好い按排に調節され時は葡萄の市價騰り、中加の地價ものがる時である。

△葡萄タイムになるとフレスノの日本人町は人をもつて埋まるの騷ひで今年も人は相當にいりこみをりタウンは繁昌してゐるが年昔のフレスノの町は大分面影が變つてゐるのに眼がつく。十年昔はブランケットを擔いだ血氣の我が勞働者が群をなして日本人町へ集いてゐる顏があつたが今は邦人の面影を漸く、その代り比島人やメキが時を得たり顏に街路を濶歩しこの邊一帶小日本の如くに街路を落いてゐるのには何となく淋しい感じがする。あゝ本當に不景氣は纏かぬいまに葡萄園が自然陶汰を受けて好い按排に調節され時は葡萄の市價騰り、中加の地價ものがる時である。

種子は
本場のギルロイで治岸日本人中最大の種子生産販賣者たるグロアー種子株式會社に御注文下さい
他店にない富社獨特の特選種子
プロコラリー　レタス　ラバー　ビー、ビーツ　其他
スペシヤリテー　卸小賣
Growers Seed Co.
P. O. Box 681
Gilroy, Calif.

日本人の耕作
元祖
種子
特撰種子物
說明附特價表
無代進呈
卸小賣
ホリスター種子物園
山中丈吉　園主
P. O. Box 108 Hollister, Calif.
ホリスター五十五番

特選種子
肥料と虫藥
北澤商會
KITAZAWA BROS
83 N. Market St., San Jose, Cal.
Tel. Ballard 564

梅毒、痲病專門
全治保證　男女內外科
皮膚血液病
總診察通信無料
劉日初
日本文及にへてなし
Dr. LAUYIT CHO
502 Grant Ave., S. F.

日本ドラッグ
ニップ胃腸藥　五十錠入　一弗廿五仙　百錠入　一弗七十五仙
溫白、健防、肉桂等に藥くべき消化を柔ねたる強力殺菌消化劑にしてカアスターゼに優る最新胃腸の妙藥
宗教醫學博士秘製
新安全月さらは　一弗
月經止りの心配が三日以內に安心歸省經驗ある婦人の秘方自下日本に於て一般好評ある婦人の秘藥
第一號　二ケ月止りに使用の分　五弗
第二號　三四ケ月に使用の分　十弗
淨血新藥　代價五弗
吹出物、梅毒、瘡毒、凡て六百六號の注射を要せず體內の瘡水を完全に除去する新針治療藥
インカム　タックス　エキスパート　ブツクキーピング
根本的に作成して上ます。經てアツタは會法的に整理して置きませんと證日取返がつきません。會計簿記法の御相談は實費で御に應じます
電話サター四八八四
ニューモンガモリー街五五

NIPPON DRUG CO.
1690 Post S., S. F. Calif. Tel. West 185

岩城ドラッグ
公認調劑無料
新日本藥種　中將湯　一弗　小兒奇應丸　一弗　命の母　一弗　胎毒下し　一弗　人參エキス　二弗　六神丸　一弗　活力素　二弗　現代ヴイタミン　二弗
ナイス　一弗　宇津救命丸　一弗
胃腸ヂイゼスチン　胃腸ヂイゼスチン　「強壯」　「強壯」
安全イージー月さらへ　五弗　九弗
米國婦人界に於て絶大な實證歡迎を博しつゝあるケーレー博士の流線專門藥は一月經閉止三四ケ月以內迄は確實な效力を發し最も容易く安全に應用の目的を遂し且つ體には少しの障害をも及ぼす事なく願る滿足を與ふ
殺菌劑　セーフテーブースト　二弗　五弗
体溫に依り一二分間に伸縮下の毒素、生菌を殺らず選擇し但し病院にして安全無害
水蒸氣で熱のよいパーク博士の胃腸藥を御試しあれ、如何なる急性慢性の胃腸病も能く治す、當代唯一の「自慢藥」　定價　一弗五十錢　四弗
●新藥　ゴノキール　價　九弗
洗體器を要せずして急性、慢性淋疾を迅速に平癒し而も再發せざる故ペフキン博士も讚す
●淨血劑　ピユーリン　（ペキン博士　價　五弗
樟腦、蒼朮、ニキビ吹き出もの等は六百六號注射を要せず體內の毒氣を取得る家庭治療劑
加州銀府東第一街一〇一　（Tel. MU 4616
THE IWAKI DRUG CO.
201 E. First St., L. A. Calif.

大阪藥店
公認調劑　無料送郵
強壯　本產場　朝鮮人參　原一本三弗より十弗
結核　トツカピン　物　五、〇〇〇活力素　二、〇〇〇
喘息　ヨヒンビン　強精錠　五、五〇〇
梅毒　スペルマチン　人參精　三、五〇〇
有效　特製　五弗
職實　通經丸　通經用　十弗
稀々の藥を用ひて效果なくた困りの方は早く此の安全無害の通經丸をお用ひなさい
機能發育器　八弗　十弗
機能障害治療唯一の醫療器　十四弗　十八弗
治療　ゴノタール　名博士發見
新藥　五弗
安全確實　殺菌座藥　三十回分　二弗
身體に何等の害なく、體溫により二三分間にて溶け、確實に其目的を遂す　五弗
旭博士創製　毛生藥支華　二百七弗　五弗
桑港ポスト街一五九四電話ウエスト三四七四

E. A. DIXON
Public Accountant
807 Sharon Bldg.
San Francisco

最保高一萬弗證險

昨年發行の保險證に依り數名の讀者が自動車其他の事故にて保險金を得られた事は讀者諸君の御承知の通りで本社の大いに滿足する處であります　本社は今回更にシエラネバダ生命傷害保險會社と特約の結果左記講證料及保險料を支拂ふ方に對して全社發行の保險證を御送附致します

一、日米新聞一ケ年分
前金十弗七十五仙　（保險證發行期中特別割引）
保險料　一弗二十五仙也
合計　金拾二弗也

一、日米新聞六ケ月分
前金五弗五十仙
保險料　一弗二十五仙
合計　金六弗七十五仙

一九二八年七月　日

桑港　日米新聞社
THE JAPANESE AMERICAN
650 Ellis St., San Francisco, Calif.

注意

一、本傷害保險は十五才以上七十歲迄の方なら其職業の如何に拘らず健康試驗なしに發行します
一、保險證有效期間は一ケ年
一、本保險證は米國內英領加奈太內に於ける傷害に限り有效
一、申込書に書入れる姓名は日英兩字共必ず本人自署たること

保險申込書

一金　弗也　仙也
日米新聞前金（一ケ年分　六ケ月分）
一金一弗二十五仙也　保險料

右御送り申上候間シエラネバダ保險會社發行の旅行及傷害保險證御送り下され度願上候

一九二八年　月　日

姓名

日米新聞社御中

英字にて左に御記入下され度願上候
NAME（姓名）
AGE（年齡）
ADDRESS（住所）

○保險加入者死亡の場合保險金請取人
▼加入者との關係
姓名

▲保險證書の要目概略を左に譯出致します

第一項

被保險者が乘客として滊車、街車、高架又は地下鐵道滊船に搭乘し居る際破壞又は運轉不能に依り傷害を蒙り三十日以內に死亡し或は左記規定の如く身體の一部を失ひたる場合、會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

一、生命を失ひたる場合　一萬弗
一、兩手を　全　一萬弗
一、兩足を　全　一萬弗
一、兩眼の視力を　全　一萬弗

一、片手及び片足を　全　一萬弗
一、片手及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片足及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片手を　全　五千弗
一、片足を　全　五千弗
一、片眼の視力を　全　五千弗

第二項

被保險者が第一項又は第二項規定の方法に依り傷害を受け職業又は勞働を者能はさる時は會社は其の勞働不能の期間に對し十五週間を超へさる範圍にて一週間二十弗の割合にて扶助金を支拂ふ（死亡又は身體の一部を失はさる場合）

一、片手及び片足を　全　一萬弗
一、片手及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片足及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片手を　全　五千弗
一、片足を　全　五千弗
一、片眼の視力を　全　五千弗

第三項

被保險者が第一項又は第二項規定の方法に依り傷害を受け職業又は勞働を者能はさる時は會社は其の勞働不能の期間に對し十五週間を超へさる範圍にて一週間二十弗の割合にて扶助金を支拂ふ

一、兩手を　全　一萬弗
一、兩足を　全　一萬弗
一、兩眼の視力を　全　一萬弗
一、片手及び片足を　全　一萬弗
一、片手及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片足及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片手を　全　二千五百弗
一、片足を　全　二千五百弗
一、片眼の視力を　全　二千五百弗

第四項

（A）私用自動車或は私用馬車の破壞、又は運轉不能に依り（被保險者が賃銀を受けて乘客を運び又は其の自動車が犯罪の目的に使用され、又は不法行爲或は犯罪行爲の結果より逃げんが爲に使用されん爲に或は拘引さるを逃れんが爲に使用されたる場合を除く）又は

（B）バブリック　ハイウエーを通行中、又は行立しつゝある際、ステーム、ケーブル、滊氣、揮發油、ギヤソリ、馬、壓搾空氣、水力等に依りて運行しつゝある車輛の爲に突當られ、倒れ又は轢かれたる場合、滊車の通路を步行中或は公道又は滊車の通路にて勞働しつゝある場合を除く）又は

（C）建築物の外壁が倒壞したる際（建築中、又は修繕を除く）又は

（D）住宅、旅館、飮食、劇場、圖書館、學校、市役所、店舖、ラフイスビルデング、クラブハウス等に於ける火災の際（被保險者が火災の初めより右の建物内に居りたる場合）又は

（E）雷電、颱風、龍卷の際又は海濱水泳場に於て救護人の監視中溺れたる場合

以上各種の場合に於て傷害を受けたる結果三十日以內に死亡し又は左の如く身體の一部を失ひたる場合會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

一、生命を失ひたる場合　一萬弗
一、兩手を　全　一萬弗
一、兩眼の視力を　全　一萬弗
一、片手及び片足を　全　一萬弗
一、片手及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片足及び片眼の視力を　全　一萬弗
一、片手を　全　五百弗
一、片足を　全　五百弗
一、片眼を　全　五百弗

第五項

被保險者が第四項規定の方法に依り傷害を受け職業又は勞働を爲す能はさる時は會社は其の勞働不能の期間に對し十五週間を超へさる範圍にて一週間十弗の割合にて扶助金を支拂ふ（死亡又は身體の一部を失はさる場合）

鮮魚、精肉
和洋食料雜貨一切
蒲鉾製造卸小賣
桑港魚市場
桑港ポスト街一七四七
電話フイルモア四二九四

【御料理】
お多福
ポスト街一五四五
電話フイルモア三〇一九
菊川亭
グリー街一六一〇
電話ウエスト六四二五

カマボコ
製造卸小賣
特に御贈答品は御注文次第調製致します
▲鮮魚食料品一切
金門商會
桑港グリー街一五二九
電話ウエスト四三七九

高級毛皮卸値賣出し
初秋向の品色々取揃へました　毛皮コート　十二弗五十仙以上　九弗五十仙以上
狐の皮各色　十二弗五十仙以上　九弗五十仙以上
フアーは保證附、返金致します
FIELDS WHOLESALE FURS
702 Market St., Cor. Kearny
San Francisco, Calif.
古毛皮の直し及び古毛皮の交換も當に應じます
日本人顧客さ常に親密なる關係を經續してゐるのは過去七年間同一人が經營してゐるからです
日本人部自動車修繕　沼本
アロー・ガージ
1701 Sutter St.
Tel. West 5593

南加版
支社電話MU一八四一五

チャプリン氏へ美はしき内裏雛
日本に來たら特に歡迎したいと誠をこめた招待狀
渡日は陽春三月か

喜劇王チャーリーチャプリンが日本に漫遊する志望あることは曩にも洩して及ぶところでないと噂されたが、愈々其の實現の運びとなつたらしく、其の時は確定せざるも遠からず實現されるであらうと、其の際は是非とも日本に來遊するやう懇請せられたところであるが、其の際は是非とも日本に來遊するやう懇請せられたところであるが、其の際は是非とも日本に來遊するやう懇請せられたところであるが

フレスノ（十七日）

桃、レーズン両社の借欵の交渉

本日桑港で成立の筈

本年度のピーチ、フイグス會社のアドバンス借入れについて銀行と交渉中のことは既報の通りなるが本日はすべての交渉を終結する筈に申加の綿作者はその報道を渇望して待つてゐる由報には本年のアドバンスに四仙五厘から五仙までの設を観ぜしが前日紙上フイムスタ一氏は稍々相違あるやに聞いて居るさ、ゐを見ると三仙から四仙以内ではないかと噂されて居るよし

桃は四仙

フイグス二仙半と發表

加州ピーチ及フイグス會社では本年度のアドバンス貸入をピーチが四仙、フイグスは二仙半と發表した（此項特電）

假令如何に

パッキングに注意しグレードがよくても色合のよくないものは發期の値段を得ることが出來ないと說いた貓目夜の出席者は本年のマスケットに葡萄は少くとも一週間後れ來年べくんば九月一日以後でなければ出荷せないやう申し合せたさ

●出生認知裁判　モンタビル常本安松氏長男哲雄（十九才）の出生認知裁判は本日上午裁判所第三號チヨーチ判事の法廷で開かれた小此木ドクターの證人に審理の結果出生事實が認知された

●瀬中氏方へ鼠賊　昨夜八時頃

シー、ヴイ、エー

出荷者會合

タチー氏一般に注意

昨夜シー、ヴイ、エー（CVA）クリアリングハウス組合員約二十名會合し今後の出荷の心得について、タチー氏より注意あり東部の一仲買人のシー、ヴイ、エー、ブルチンに寄せた所說を引用し葡萄は見かけもよく味のよいものの出荷せよ

●合志會役員會　バレア合志會では十八日（土）午後八時から役員會を開き來る納骨堂の件について協議をなす筈だから洩れなく出席ありたしと

眞佛の盂蘭盆會

●盂蘭盆會　來る十九日（日曜）納骨堂にて盂蘭盆法會執行いたし當日のプログラムは午前十時教會を發しサンセットに墓地に集參十二時教會に於て中食午後七時半より追悼法要、讀經、燒香、隨喜、有志の感話及び開教使の說教等あり終つて茶菓の饗應をなすこと當日は特に初盆の人々により法要を營むこととしその人々には提灯一、藤岡孝一、森田榮次郎、高橋義博（以上眞佛に關係）西原健造、江高正記、永田三郎、齋枝仁三郎、藤田只七、古賀宅右衛門、光安榮次、大下政次郎、松永辰次、藤田只七、古賀宅右衛門、光安榮次、大下政

サクラメント（十八日）

労働賃金に 悩まさる農業家

農産物の市價は不況だが勞賃は依然と下らぬ

本年の農産物中で異實の市價は學校、青年會および各女會なら實に不況のさん底にあるといつて過言ではない。プラム然りピーチしかり、ペヤーしかり、しかして正に出荷期にある葡萄の値段も不況なるべく悲觀されてゐる。これに反して農園勞働者の賃金は比較的高給を支はらはれてゐる。目下葡萄摘採の一勞賃金は一日三弗五十仙位であるところはそれ以上も支はらつてゐるかもしれぬ。耕作者は作物の市價に準照して高すぎるとはしりながらも背に腹はかへられぬので、世間なみの支拂ひをせねばならぬ。したがつて粒々辛苦の經費も勘定して見れば結極據であつたここになる。かつて同胞農業家代表者會でこの勞働賃金の問題がしばしば提案協議されたが、人爲的に何等の効果もなく、いまでは寄こして聲すらあがらない。しかし農業家のつともなまされるものはこの勞働賃金の問題であらねばならぬ

櫻學園增築費 收支決算報告

寄附金一萬二千余弗

當市櫻學園增築費につき現在の寄附申こみ總額は一萬二千四百九十一弗で、そのうち未納額四千三百七十六弗となるが、學園および幼稚園兒童の机、遊動具および玩具その他諸關の備なの費用を要することなるをもつて、いまだ醵募なき方々には寄附申こみある希望すると同時に未納かたなるべく多額の納金あらんことをねがふ。昨今までの收支決算は

▲總收入　一萬千百廿三弗十五仙

內譯　寄附金納額八千百十五弗八仙
銀行より借入金　三千弗
サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙
總支出　一萬千百三弗五十五仙

內譯　土地家屋購入費五千弗
銀行利子八十三弗六十五仙
設計料百四十弗
雜費四百五十五弗八仙
稅八弗九十一仙
火災保險料三十三弗
水代廿七弗
人夫賃料五十仙
建築增築請負費五千二百弗
地ならし等廿三弗五十仙
特別工事費四百五十弗八仙
銀行へ借金利子三十仙
手數料四十四弗二十仙
殘金（現金銀行預金）十九弗六十仙

●寄附　有明商店の西村萬藏氏は「息子記念として櫻學園へ」と金參圓ご寄附下さいました。感謝の至りです。

踊の溫習會

當市山村師匠門下の愛弟子連の溫習會はいよ〳〵九月二日の日曜午後四時からエル街二十四番地の會場で擧行することに決した。

▲徵兵事務注意　本年十二月一日より在留邦人徵兵適齡者は屆出けつけの在留申告書には最初に徵兵延期許可されたる年月日を要すれば各自最寄地役場に照會しその事務うけ付けは明年一月卅一日までにたしかめおかれたし。

▲大關師來村　本願寺學務部の大關師は愛府有明商會主西村氏の再度切望手術をうけ、大いに良好なるなるをしめしたりしが經過はなはだしくつひに十七日午前十一時同病院に逝く。葬儀は二十日午後二時須市佛教會にて執行すべしと

●大塚理髮師　東京市電氣局技師大塚理髮師は日米須社會へ四郎氏同伴ウエスタン電氣會社營電所視察の途中桑須支部訪問のためたちよりに出發プレスノにむかひたり

松永氏の 裁判は

廿一日マルで延期

●主田沖野氏辯米　本日主田沖野氏辯米の手よりの電報には氏は十九日早朝のザイベリヤ丸にて桑港に入港すべしと、なほ沖野選手も同船しなるやうに想像されるが重氏一家および內海氏なき出むかへに出發したり

日曜の基督教會

十九日（日曜）午前九時四十五分日夜、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

コンコード【七日】

●日曜集會　きたる十九日午前十時美以日校、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

例年より冷氣

本日須市測候場の報告によれば昨年の八月十七日の溫度と本年同月同日の溫度は左のごとし

▲本年朝七時　五七度　日中　八一度　三時　九一度　五時　八八度
▲昨年　朝七時　六二度　日中　八六度　三時　九二度　五時　八六度

午後三時ごろに夜間の冷涼をうかがふをうべし

小室氏長女逝く

スタクトン綿織小室昌一氏の長女明子（二ケ月半）は一週間まへヤマから衰弱したばかりか、日下デュローの自宅で診察に從事してゐたのであるが、

ルーミス（六日）

山と海濱に 出かける人々

過去三四ケ月のあひだ戰爭のごとき農業期もひまもつ一段落をつけあつた物のクリング　ビーや葡萄の多忙期までに廿二週間のひまがあるので、山や海濱にあるひは子弟をつれだつて避地方の都市見學にでかける人がたくさんある模樣だが、いつても一週間の豫定で佐々木氏家族はレーキ　タホーに宅間氏一家はサンタ　クルーズに新田氏家族はヨセミテーにでかけて

死亡廣告

長男明儀センジロセフ病院にて病氣擬發中のところ本日午前十一時死去致候間此段辱知諸彦に謹告仕候追而葬儀は來る廿日午後二時須市佛教會に於て執行可仕候

八月十七日

須市　小室昌一

父　谷田榮一
母　谷田ヤス
叔父　三輪庸晴
友人　上田利與
高岡茂次郎
市岡本直
柴田庄三郎
島田治平
遠藤照
大橋貫一
白石彌三郎
永田靜
上井勇太郎

廣告は無言のセールスマンなり

日米新聞社營業部

理髮店

位置よし、收入確實、夫婦ご適す代價五百弗現金、至急歸國讓渡し、鑑札下附には世話すべし

須市　東　床
146 S. Center St., Stockton.

貸家

第五街千四百九番ご千四百十一番の借家二軒、信用のフラト二軒、信用すべき日本人に貸したし左記へ申込まれよ　Nathan & Michel
108 E. Sacramento, Calif.

讓

ルーミング。客數五十七。白人專屬人。リース二年あり尙延長す。月極の收入七十五弗現金ご一部月拂ひでよし電話31597 W

洋食店

スタクトン市

日米須市支社

洋食店讓度

桑市目拔の場所營業合地點利益純實主人歸國急讓度し支拂簡易委細は左記へ

須市　日米支社

洋食店讓度

櫻府第四街一四一四
桑メーン三〇六六

櫻府第四街一四一四

櫻府支社

科學生活に藥品

現代科學的の家庭生活には是非進歩した特製の賣藥を備へる必要有之候。弊店は故國特約店と契約し每月日本製藥品多數入荷仕候從つて藥品は日〻精選され效驗を保證仕候舊に倍し御注文の榮を賜はりたく候

◎最近入荷藥品

シエピン　男女强精劑にして過度の勉强心配、手淫、過淫より來る諸病に特効あり　百三十錠入定價金五弗

エモジン　內服藥にて眼病を治す、最新眼藥、老婆者の視力囘復、腫脹、疼痛、汗熱を治す　十七日分　定價一弗五十仙

人參テルミン　衣服の上よりの押灸圖解說明付きにて何人にも家庭で應用出來る　一箱　定價金五弗

ぜんそくエキス　注射を用いずしてぜんそくを治す新藥で全治を保證す　六十回分　定價四弗八十仙

酸素療器オキシヘラは大改善を施し最近着荷す家庭に一個を備付けあらんことを薦む　定價四弗八十仙

須市日本人藥店之元祖

錦帶堂藥舖

245 S. ElDorado St., Stockton, Calif.

新發賣御披露

新案改良容器
正味五斤鑵入り
御常用向き銘茶

寶船印第一號

新茶

多年御愛用を賜はり實質本位を以て知られたる銘茶寶船の姉妹品として今回寶船印第一號を發賣いたしました

本品は香味最絶せる純良茶の產地として有名なる靜岡縣川根產を主とし之れに獨特の綴合を以て一般御家庭御常用向きとして各地の優秀品を吟味配合したる精選品で御座います

最後の一葉迄も芳しき新茶の香りを保全するやう容器に多大の改良を加へ鉅く迄實質本位に精進したる銘茶で御座います

何卒其の眞價をた味ひ下さる樣御願ひいたします

桑港
茶問屋　陰山商會

最寄りの食料品店、茶店にて御求めを乞ふ

郡共內空中劇

一割五分の 減收を示す 全米國產の秋玉葱

實際には之より尙減收豫想

スタクトン（十七日）電話　一四四二

一日のこの通信において加州に開催される郡共進會內出色の產玉葱が三割方の減少であることを報じたが、本日全米國產玉葱の產額發表に關して中央政府の發表は千九百四十二萬ブシエルと報告されてゐる。作付面積において三千エーカ昨年度よりもすくないことに作柄においてもまた

▲減收の傾向　著しく、昨年は全米作場の一エーカ收穫は三百三十五ブシエルであつたが、本年は三百十四ブシエルで一エーカ二十一ブシエルの減收をきたしてゐる。秋玉葱は現在デルタ地方をはじめ目下さかんに掘收を開始したりし中であるが

▲實際について　できるも昨年の收穫に比較して三分の二である。特別工事費四百五十五弗八十三仙、銀行へ借金利子三十仙、手數料四十四弗二十仙

▲殘金（現金銀行預金）十九弗六十仙

サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙

櫻學園增築費 收支決算報告

寄附金一萬二千余弗

當市櫻學園增築費につき現在の寄附申こみ總額は一萬二千四百九十一弗で、そのうち未納額四千三百七十六弗となるが、學園および幼稚園兒童の机、遊動具および玩具その他諸關の備なの費用を要することなるをもつて、いまだ醵募なき方々には寄附申こみある希望すると同時に未納かたなるべく多額の納金あらんことをねがふ。昨今までの收支決算は

▲總收入　一萬千百廿三弗十五仙

內譯　寄附金納額八千百十五弗八仙
銀行より借入金　三千弗
サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙
總支出　一萬千百三弗五十五仙

內譯　土地家屋購入費五千弗
銀行利子八十三弗六十五仙
設計料百四十弗
雜費四百五十五弗八仙
稅八弗九十一仙
火災保險料三十三弗
水代廿七弗
人夫賃料五十仙
建築增築請負費五千二百弗

●寄附　有明商店の西村萬藏氏は「息子記念として櫻學園へ」と金參圓ご寄附下さいました。感謝の至りです。

踊の溫習會

當市山村師匠門下の愛弟子連の溫習會はいよ〳〵九月二日の日曜午後四時からエル街二十四番地の會場で擧行することに決した。

▲徵兵事務注意　本年十二月一日より在留邦人徵兵適齡者は屆出けつけの在留申告書には最初に徵集延期許可されたる年月日を要すれば各自最寄地役場に照會しその事務うけ付けは明年一月卅一日までにたしかめおかれたし。

▲大關師來村　本願寺學務部の大關師は愛府有明商會主西村氏の再度切望手術をうけ、大いに良好なるなるをしめしたりしが經過はなはだしくつひに十七日午前十一時同病院に逝く。葬儀は二十日午後二時須市佛教會にて執行すべしと

●大塚理髮師　東京市電氣局技師大塚理髮師は日米須社會へ四郎氏同伴ウエスタン電氣會社營電所視察の途中桑須支部訪問のためたちよりに出發プレスノにむかひたり

松永氏の 裁判は

廿一日マルで延期

●主田沖野氏辯米　本日主田沖野氏辯米の手よりの電報には氏は十九日早朝のザイベリヤ丸にて桑港に入港すべしと、なほ沖野選手も同船しなるやうに想像されるが重氏一家および內海氏なき出むかへに出發したり

日曜の基督教會

十九日（日曜）午前九時四十五分日夜、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

コンコード【七日】

●日曜集會　きたる十九日午前十時美以日校、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

例年より冷氣

本日須市測候場の報告によれば昨年の八月十七日の溫度と本年同月同日の溫度は左のごとし

▲本年朝七時　五七度　日中　八一度　三時　九一度　五時　八八度
▲昨年　朝七時　六二度　日中　八六度　三時　九二度　五時　八六度

午後三時ごろに夜間の冷涼をうかがふをうべし

小室氏長女逝く

スタクトン綿織小室昌一氏の長女明子（二ケ月半）は一週間まへヤマから衰弱したばかりか、日下デュローの自宅で診察に從事してゐたのであるが、

ルーミス（六日）

山と海濱に 出かける人々

過去三四ケ月のあひだ戰爭のごとき農業期もひまもつ一段落をつけあつた物のクリング　ビーや葡萄の多忙期までに廿二週間のひまがあるので、山や海濱にあるひは子弟をつれだつて避地方の都市見學にでかける人がたくさんある模樣だが、いつても一週間の豫定で佐々木氏家族はレーキ　タホーに宅間氏一家はサンタ　クルーズに新田氏家族はヨセミテーにでかけて

死亡廣告

長男明儀センジロセフ病院にて病氣擬發中のところ本日午前十一時死去致候間此段辱知諸彦に謹告仕候追而葬儀は來る廿日午後二時須市佛教會に於て執行可仕候

八月十七日

須市　小室昌一

父　谷田榮一
母　谷田ヤス
叔父　三輪庸晴
友人　上田利與
高岡茂次郎
市岡本直
柴田庄三郎
島田治平
遠藤照
大橋貫一
白石彌三郎
永田靜
上井勇太郎

廣告は無言のセールスマンなり

日米新聞社營業部

理髮店

位置よし、收入確實、夫婦ご適す代價五百弗現金、至急歸國讓渡し、鑑札下附には世話すべし

須市　東　床
146 S. Center St., Stockton.

貸家

第五街千四百九番ご千四百十一番の借家二軒、信用のフラト二軒、信用すべき日本人に貸したし左記へ申込まれよ　Nathan & Michel
108 E. Sacramento, Calif.

讓

ルーミング。客數五十七。白人專屬人。リース二年あり尙延長す。月極の收入七十五弗現金ご一部月拂ひでよし電話31597 W

洋食店

スタクトン市

日米須市支社

洋食店讓度

桑市目拔の場所營業合地點利益純實主人歸國急讓度し支拂簡易委細は左記へ

須市　日米支社

洋食店讓度

櫻府第四街一四一四
桑メーン三〇六六

櫻府第四街一四一四

櫻府支社

科學生活に藥品

現代科學的の家庭生活には是非進歩した特製の賣藥を備へる必要有之候。弊店は故國特約店と契約し每月日本製藥品多數入荷仕候從つて藥品は日〻精選され效驗を保證仕候舊に倍し御注文の榮を賜はりたく候

◎最近入荷藥品

シエピン　男女强精劑にして過度の勉强心配、手淫、過淫より來る諸病に特効あり　百三十錠入定價金五弗

エモジン　內服藥にて眼病を治す、最新眼藥、老婆者の視力、腫脹、疼痛、汗熱を治す　十七日分　定價一弗五十仙

人參テルミン　衣服の上よりの押灸圖解說明付きにて何人にも家庭で應用出來る　一箱　定價金五弗

ぜんそくエキス　注射を用いずしてぜんそくを治す新藥で全治を保證す　六十回分　定價四弗八十仙

酸素療器オキシヘラは大改善を施し最近着荷す家庭に一個を備付けあらんことを薦む　定價四弗八十仙

須市日本人藥店之元祖

錦帶堂藥舖

245 S. ElDorado St., Stockton, Calif.

郡共內空中劇

一割五分の 減收を示す 全米國產の秋玉葱

實際には之より尙減收豫想

スタクトン（十七日）電話　一四四二

一日のこの通信において加州に開催される郡共進會內出色の產玉葱が三割方の減少であることを報じたが、本日全米國產玉葱の產額發表に關して中央政府の發表は千九百四十二萬ブシエルと報告されてゐる。作付面積において三千エーカ昨年度よりもすくないことに作柄においてもまた

▲減收の傾向　著しく、昨年は全米作場の一エーカ收穫は三百三十五ブシエルであつたが、本年は三百十四ブシエルで一エーカ二十一ブシエルの減收をきたしてゐる。秋玉葱は現在デルタ地方をはじめ目下さかんに掘收を開始したりし中であるが

▲實際について　できるも昨年の收穫に比較して三分の二である。特別工事費四百五十五弗八十三仙、銀行へ借金利子三十仙、手數料四十四弗二十仙

▲殘金（現金銀行預金）十九弗六十仙

サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙

櫻學園增築費 收支決算報告

寄附金一萬二千余弗

當市櫻學園增築費につき現在の寄附申こみ總額は一萬二千四百九十一弗で、そのうち未納額四千三百七十六弗となるが、學園および幼稚園兒童の机、遊動具および玩具その他諸關の備なの費用を要することなるをもつて、いまだ醵募なき方々には寄附申こみある希望すると同時に未納かたなるべく多額の納金あらんことをねがふ。昨今までの收支決算は

▲總收入　一萬千百廿三弗十五仙

內譯　寄附金納額八千百十五弗八仙
銀行より借入金　三千弗
サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙
總支出　一萬千百三弗五十五仙

內譯　土地家屋購入費五千弗
銀行利子八十三弗六十五仙
設計料百四十弗
雜費四百五十五弗八仙
稅八弗九十一仙
火災保險料三十三弗
水代廿七弗
人夫賃料五十仙
建築增築請負費五千二百弗

●寄附　有明商店の西村萬藏氏は「息子記念として櫻學園へ」と金參圓ご寄附下さいました。感謝の至りです。

踊の溫習會

當市山村師匠門下の愛弟子連の溫習會はいよ〳〵九月二日の日曜午後四時からエル街二十四番地の會場で擧行することに決した。

▲徵兵事務注意　本年十二月一日より在留邦人徵兵適齡者は屆出けつけの在留申告書には最初に徵集延期許可されたる年月日を要すれば各自最寄地役場に照會しその事務うけ付けは明年一月卅一日までにたしかめおかれたし。

▲大關師來村　本願寺學務部の大關師は愛府有明商會主西村氏の再度切望手術をうけ、大いに良好なるなるをしめしたりしが經過はなはだしくつひに十七日午前十一時同病院に逝く。葬儀は二十日午後二時須市佛教會にて執行すべしと

●大塚理髮師　東京市電氣局技師大塚理髮師は日米須社會へ四郎氏同伴ウエスタン電氣會社營電所視察の途中桑須支部訪問のためたちよりに出發プレスノにむかひたり

松永氏の 裁判は

廿一日マルで延期

●主田沖野氏辯米　本日主田沖野氏辯米の手よりの電報には氏は十九日早朝のザイベリヤ丸にて桑港に入港すべしと、なほ沖野選手も同船しなるやうに想像されるが重氏一家および內海氏なき出むかへに出發したり

日曜の基督教會

十九日（日曜）午前九時四十五分日夜、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

コンコード【七日】

●日曜集會　きたる十九日午前十時美以日校、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

例年より冷氣

本日須市測候場の報告によれば昨年の八月十七日の溫度と本年同月同日の溫度は左のごとし

▲本年朝七時　五七度　日中　八一度　三時　九一度　五時　八八度
▲昨年　朝七時　六二度　日中　八六度　三時　九二度　五時　八六度

午後三時ごろに夜間の冷涼をうかがふをうべし

小室氏長女逝く

スタクトン綿織小室昌一氏の長女明子（二ケ月半）は一週間まへヤマから衰弱したばかりか、日下デュローの自宅で診察に從事してゐたのであるが、

ルーミス（六日）

山と海濱に 出かける人々

過去三四ケ月のあひだ戰爭のごとき農業期もひまもつ一段落をつけあつた物のクリング　ビーや葡萄の多忙期までに廿二週間のひまがあるので、山や海濱にあるひは子弟をつれだつて避地方の都市見學にでかける人がたくさんある模樣だが、いつても一週間の豫定で佐々木氏家族はレーキ　タホーに宅間氏一家はサンタ　クルーズに新田氏家族はヨセミテーにでかけて

死亡廣告

長男明儀センジロセフ病院にて病氣擬發中のところ本日午前十一時死去致候間此段辱知諸彦に謹告仕候追而葬儀は來る廿日午後二時須市佛教會に於て執行可仕候

八月十七日

須市　小室昌一

父　谷田榮一
母　谷田ヤス
叔父　三輪庸晴
友人　上田利與
高岡茂次郎
市岡本直
柴田庄三郎
島田治平
遠藤照
大橋貫一
白石彌三郎
永田靜
上井勇太郎

廣告は無言のセールスマンなり

日米新聞社營業部

理髮店

位置よし、收入確實、夫婦ご適す代價五百弗現金、至急歸國讓渡し、鑑札下附には世話すべし

須市　東　床
146 S. Center St., Stockton.

貸家

第五街千四百九番ご千四百十一番の借家二軒、信用のフラト二軒、信用すべき日本人に貸したし左記へ申込まれよ　Nathan & Michel
108 E. Sacramento, Calif.

讓

ルーミング。客數五十七。白人專屬人。リース二年あり尙延長す。月極の收入七十五弗現金ご一部月拂ひでよし電話31597 W

洋食店

スタクトン市

日米須市支社

洋食店讓度

桑市目拔の場所營業合地點利益純實主人歸國急讓度し支拂簡易委細は左記へ

須市　日米支社

洋食店讓度

櫻府第四街一四一四
桑メーン三〇六六

櫻府第四街一四一四

櫻府支社

科學生活に藥品

現代科學的の家庭生活には是非進歩した特製の賣藥を備へる必要有之候。弊店は故國特約店と契約し每月日本製藥品多數入荷仕候從つて藥品は日〻精選され效驗を保證仕候舊に倍し御注文の榮を賜はりたく候

◎最近入荷藥品

シエピン　男女强精劑にして過度の勉强心配、手淫、過淫より來る諸病に特効あり　百三十錠入定價金五弗

エモジン　內服藥にて眼病を治す、最新眼藥、老婆者の視力、腫脹、疼痛、汗熱を治す　十七日分　定價一弗五十仙

人參テルミン　衣服の上よりの押灸圖解說明付きにて何人にも家庭で應用出來る　一箱　定價金五弗

ぜんそくエキス　注射を用いずしてぜんそくを治す新藥で全治を保證す　六十回分　定價四弗八十仙

酸素療器オキシヘラは大改善を施し最近着荷す家庭に一個を備付けあらんことを薦む　定價四弗八十仙

須市日本人藥店之元祖

錦帶堂藥舖

245 S. ElDorado St., Stockton, Calif.

新發賣御披露

新案改良容器
正味五斤鑵入り
御常用向き銘茶

寶船印第一號

新茶

多年御愛用を賜はり實質本位を以て知られたる銘茶寶船の姉妹品として今回寶船印第一號を發賣いたしました

本品は香味最絶せる純良茶の產地として有名なる靜岡縣川根產を主とし之れに獨特の綴合を以て一般御家庭御常用向きとして各地の優秀品を吟味配合したる精選品で御座います

最後の一葉迄も芳しき新茶の香りを保全するやう容器に多大の改良を加へ鉅く迄實質本位に精進したる銘茶で御座います

何卒其の眞價をた味ひ下さる樣御願ひいたします

桑港
茶問屋　陰山商會

最寄りの食料品店、茶店にて御求めを乞ふ

郡共內空中劇

一割五分の 減收を示す 全米國產の秋玉葱

實際には之より尙減收豫想

スタクトン（十七日）電話　一四四二

一日のこの通信において加州に開催される郡共進會內出色の產玉葱が三割方の減少であることを報じたが、本日全米國產玉葱の產額發表に關して中央政府の發表は千九百四十二萬ブシエルと報告されてゐる。作付面積において三千エーカ昨年度よりもすくないことに作柄においてもまた

▲減收の傾向　著しく、昨年は全米作場の一エーカ收穫は三百三十五ブシエルであつたが、本年は三百十四ブシエルで一エーカ二十一ブシエルの減收をきたしてゐる。秋玉葱は現在デルタ地方をはじめ目下さかんに掘收を開始したりし中であるが

▲實際について　できるも昨年の收穫に比較して三分の二である。特別工事費四百五十五弗八十三仙、銀行へ借金利子三十仙、手數料四十四弗二十仙

▲殘金（現金銀行預金）十九弗六十仙

サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙

櫻學園增築費 收支決算報告

寄附金一萬二千余弗

當市櫻學園增築費につき現在の寄附申こみ總額は一萬二千四百九十一弗で、そのうち未納額四千三百七十六弗となるが、學園および幼稚園兒童の机、遊動具および玩具その他諸關の備なの費用を要することなるをもつて、いまだ醵募なき方々には寄附申こみある希望すると同時に未納かたなるべく多額の納金あらんことをねがふ。昨今までの收支決算は

▲總收入　一萬千百廿三弗十五仙

內譯　寄附金納額八千百十五弗八仙
銀行より借入金　三千弗
サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙
總支出　一萬千百三弗五十五仙

內譯　土地家屋購入費五千弗
銀行利子八十三弗六十五仙
設計料百四十弗
雜費四百五十五弗八仙
稅八弗九十一仙
火災保險料三十三弗
水代廿七弗
人夫賃料五十仙
建築增築請負費五千二百弗

●寄附　有明商店の西村萬藏氏は「息子記念として櫻學園へ」と金參圓ご寄附下さいました。感謝の至りです。

踊の溫習會

當市山村師匠門下の愛弟子連の溫習會はいよ〳〵九月二日の日曜午後四時からエル街二十四番地の會場で擧行することに決した。

▲徵兵事務注意　本年十二月一日より在留邦人徵兵適齡者は屆出けつけの在留申告書には最初に徵集延期許可されたる年月日を要すれば各自最寄地役場に照會しその事務うけ付けは明年一月卅一日までにたしかめおかれたし。

▲大關師來村　本願寺學務部の大關師は愛府有明商會主西村氏の再度切望手術をうけ、大いに良好なるなるをしめしたりしが經過はなはだしくつひに十七日午前十一時同病院に逝く。葬儀は二十日午後二時須市佛教會にて執行すべしと

●大塚理髮師　東京市電氣局技師大塚理髮師は日米須社會へ四郎氏同伴ウエスタン電氣會社營電所視察の途中桑須支部訪問のためたちよりに出發プレスノにむかひたり

松永氏の 裁判は

廿一日マルで延期

●主田沖野氏辯米　本日主田沖野氏辯米の手よりの電報には氏は十九日早朝のザイベリヤ丸にて桑港に入港すべしと、なほ沖野選手も同船しなるやうに想像されるが重氏一家および內海氏なき出むかへに出發したり

日曜の基督教會

十九日（日曜）午前九時四十五分日夜、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

コンコード【七日】

●日曜集會　きたる十九日午前十時美以日校、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

例年より冷氣

本日須市測候場の報告によれば昨年の八月十七日の溫度と本年同月同日の溫度は左のごとし

▲本年朝七時　五七度　日中　八一度　三時　九一度　五時　八八度
▲昨年　朝七時　六二度　日中　八六度　三時　九二度　五時　八六度

午後三時ごろに夜間の冷涼をうかがふをうべし

小室氏長女逝く

スタクトン綿織小室昌一氏の長女明子（二ケ月半）は一週間まへヤマから衰弱したばかりか、日下デュローの自宅で診察に從事してゐたのであるが、

ルーミス（六日）

山と海濱に 出かける人々

過去三四ケ月のあひだ戰爭のごとき農業期もひまもつ一段落をつけあつた物のクリング　ビーや葡萄の多忙期までに廿二週間のひまがあるので、山や海濱にあるひは子弟をつれだつて避地方の都市見學にでかける人がたくさんある模樣だが、いつても一週間の豫定で佐々木氏家族はレーキ　タホーに宅間氏一家はサンタ　クルーズに新田氏家族はヨセミテーにでかけて

死亡廣告

長男明儀センジロセフ病院にて病氣擬發中のところ本日午前十一時死去致候間此段辱知諸彦に謹告仕候追而葬儀は來る廿日午後二時須市佛教會に於て執行可仕候

八月十七日

須市　小室昌一

父　谷田榮一
母　谷田ヤス
叔父　三輪庸晴
友人　上田利與
高岡茂次郎
市岡本直
柴田庄三郎
島田治平
遠藤照
大橋貫一
白石彌三郎
永田靜
上井勇太郎

廣告は無言のセールスマンなり

日米新聞社營業部

理髮店

位置よし、收入確實、夫婦ご適す代價五百弗現金、至急歸國讓渡し、鑑札下附には世話すべし

須市　東　床
146 S. Center St., Stockton.

貸家

第五街千四百九番ご千四百十一番の借家二軒、信用のフラト二軒、信用すべき日本人に貸したし左記へ申込まれよ　Nathan & Michel
108 E. Sacramento, Calif.

讓

ルーミング。客數五十七。白人專屬人。リース二年あり尙延長す。月極の收入七十五弗現金ご一部月拂ひでよし電話31597 W

洋食店

スタクトン市

日米須市支社

洋食店讓度

桑市目拔の場所營業合地點利益純實主人歸國急讓度し支拂簡易委細は左記へ

須市　日米支社

洋食店讓度

櫻府第四街一四一四
桑メーン三〇六六

櫻府第四街一四一四

櫻府支社

科學生活に藥品

現代科學的の家庭生活には是非進歩した特製の賣藥を備へる必要有之候。弊店は故國特約店と契約し每月日本製藥品多數入荷仕候從つて藥品は日〻精選され效驗を保證仕候舊に倍し御注文の榮を賜はりたく候

◎最近入荷藥品

シエピン　男女强精劑にして過度の勉强心配、手淫、過淫より來る諸病に特効あり　百三十錠入定價金五弗

エモジン　內服藥にて眼病を治す、最新眼藥、老婆者の視力、腫脹、疼痛、汗熱を治す　十七日分　定價一弗五十仙

人參テルミン　衣服の上よりの押灸圖解說明付きにて何人にも家庭で應用出來る　一箱　定價金五弗

ぜんそくエキス　注射を用いずしてぜんそくを治す新藥で全治を保證す　六十回分　定價四弗八十仙

酸素療器オキシヘラは大改善を施し最近着荷す家庭に一個を備付けあらんことを薦む　定價四弗八十仙

須市日本人藥店之元祖

錦帶堂藥舖

245 S. ElDorado St., Stockton, Calif.

新發賣御披露

新案改良容器
正味五斤鑵入り
御常用向き銘茶

寶船印第一號

新茶

多年御愛用を賜はり實質本位を以て知られたる銘茶寶船の姉妹品として今回寶船印第一號を發賣いたしました

本品は香味最絶せる純良茶の產地として有名なる靜岡縣川根產を主とし之れに獨特の綴合を以て一般御家庭御常用向きとして各地の優秀品を吟味配合したる精選品で御座います

最後の一葉迄も芳しき新茶の香りを保全するやう容器に多大の改良を加へ鉅く迄實質本位に精進したる銘茶で御座います

何卒其の眞價をた味ひ下さる樣御願ひいたします

桑港
茶問屋　陰山商會

最寄りの食料品店、茶店にて御求めを乞ふ

郡共內空中劇

一割五分の 減收を示す 全米國產の秋玉葱

實際には之より尙減收豫想

スタクトン（十七日）電話　一四四二

一日のこの通信において加州に開催される郡共進會內出色の產玉葱が三割方の減少であることを報じたが、本日全米國產玉葱の產額發表に關して中央政府の發表は千九百四十二萬ブシエルと報告されてゐる。作付面積において三千エーカ昨年度よりもすくないことに作柄においてもまた

▲減收の傾向　著しく、昨年は全米作場の一エーカ收穫は三百三十五ブシエルであつたが、本年は三百十四ブシエルで一エーカ二十一ブシエルの減收をきたしてゐる。秋玉葱は現在デルタ地方をはじめ目下さかんに掘收を開始したりし中であるが

▲實際について　できるも昨年の收穫に比較して三分の二である。特別工事費四百五十五弗八十三仙、銀行へ借金利子三十仙、手數料四十四弗二十仙

▲殘金（現金銀行預金）十九弗六十仙

サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙

櫻學園增築費 收支決算報告

寄附金一萬二千余弗

當市櫻學園增築費につき現在の寄附申こみ總額は一萬二千四百九十一弗で、そのうち未納額四千三百七十六弗となるが、學園および幼稚園兒童の机、遊動具および玩具その他諸關の備なの費用を要することなるをもつて、いまだ醵募なき方々には寄附申こみある希望すると同時に未納かたなるべく多額の納金あらんことをねがふ。昨今までの收支決算は

▲總收入　一萬千百廿三弗十五仙

內譯　寄附金納額八千百十五弗八仙
銀行より借入金　三千弗
サクラメント　ランドーより戻り金八弗十五仙
總支出　一萬千百三弗五十五仙

內譯　土地家屋購入費五千弗
銀行利子八十三弗六十五仙
設計料百四十弗
雜費四百五十五弗八仙
稅八弗九十一仙
火災保險料三十三弗
水代廿七弗
人夫賃料五十仙
建築增築請負費五千二百弗

●寄附　有明商店の西村萬藏氏は「息子記念として櫻學園へ」と金參圓ご寄附下さいました。感謝の至りです。

踊の溫習會

當市山村師匠門下の愛弟子連の溫習會はいよ〳〵九月二日の日曜午後四時からエル街二十四番地の會場で擧行することに決した。

▲徵兵事務注意　本年十二月一日より在留邦人徵兵適齡者は屆出けつけの在留申告書には最初に徵集延期許可されたる年月日を要すれば各自最寄地役場に照會しその事務うけ付けは明年一月卅一日までにたしかめおかれたし。

▲大關師來村　本願寺學務部の大關師は愛府有明商會主西村氏の再度切望手術をうけ、大いに良好なるなるをしめしたりしが經過はなはだしくつひに十七日午前十一時同病院に逝く。葬儀は二十日午後二時須市佛教會にて執行すべしと

●大塚理髮師　東京市電氣局技師大塚理髮師は日米須社會へ四郎氏同伴ウエスタン電氣會社營電所視察の途中桑須支部訪問のためたちよりに出發プレスノにむかひたり

松永氏の 裁判は

廿一日マルで延期

●主田沖野氏辯米　本日主田沖野氏辯米の手よりの電報には氏は十九日早朝のザイベリヤ丸にて桑港に入港すべしと、なほ沖野選手も同船しなるやうに想像されるが重氏一家および內海氏なき出むかへに出發したり

日曜の基督教會

十九日（日曜）午前九時四十五分日夜、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

コンコード【七日】

●日曜集會　きたる十九日午前十時美以日校、同十一時禮拜說教「吾人の覺悟」吉岡牧師　午後八時エポース青年會集會

例年より冷氣

本日須市測候場の報告によれば昨年の八月十七日の溫度と本年同月同日の溫度は左のごとし

▲本年朝七時　五七度　日中　八一度　三時　九一度　五時　八八度
▲昨年　朝七時　六二度　日中　八六度　三時　九二度　五時　八六度

午後三時ごろに夜間の冷涼をうかがふをうべし

小室氏長女逝く

スタクトン綿織小室昌一氏の長女明子（二ケ月半）は一週間まへヤマから衰弱したばかりか、日下デュローの自宅で診察に從事してゐたのであるが、

ルーミス（六日）

山と海濱に 出かける人々

過去三四ケ月のあひだ戰爭のごとき農業期もひまもつ一段落をつけあつた物のクリング　ビーや葡萄の多忙期までに廿二週間のひまがあるので、山や海濱にあるひは子弟をつれだつて避地方の都市見學にでかける人がたくさんある模樣だが、いつても一週間の豫定で佐々木氏家族はレーキ　タホーに宅間氏一家はサンタ　クルーズに新田氏家族はヨセミテーにでかけて

死亡廣告

長男明儀センジロセフ病院にて病氣擬發中のところ本日午前十一時死去致候間此段辱知諸彦に謹告仕候追而葬儀は來る廿日午後二時須市佛教會に於て執行可仕候

八月十七日

須市　小室昌一

父　谷田榮一
母　谷田ヤス
叔父　三輪庸晴
友人　上田利與
高岡茂次郎
市岡本直
柴田庄三郎
島田治平
遠藤照
大橋貫一
白石彌三郎
永田靜
上井勇太郎

廣告は無言のセールスマンなり

日米新聞社營業部

理髮店

位置よし、收入確實、夫婦ご適す代價五百弗現金、至急歸國讓渡し、鑑札下附には世話すべし

須市　東　床
146 S. Center St., Stockton.

貸家

第五街千四百九番ご千四百十一番の借家二軒、信用のフラト二軒、信用すべき日本人に貸したし左記へ申込まれよ　Nathan & Michel
108 E. Sacramento, Calif.

讓

ルーミング。

A Newspaper For All Peoples Interested In The Welfare of Japan And the Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10348 — Entered at the S. F. Post Office as Second Class Matter. — SAN FRANCISCO, CALIF., SUNDAY, AUGUST 19, 1928

Copyright 1928 by The Japanese American News

Per Month $1.00
Per Year $11.00

WILDS IN GOBI YIELD RELICS OF PAST AGES

Andrews' Expedition Sought To Discover "Dawn Man"

PEKING, China, August 17.—Tales of encounters with brigands, of terrific sandstorms, of thickly populated fertile land of 20,000 years ago that is now a desert, and of fossil remains of an enormous beast which ate itself out of existence, were brought back here by Roy Chapman Andrews and his expedition into the great Gobi desert of Inned Mongolia.

They returned laden with relics, some of them 150,000 years old, and others showing a remarkable stage of stone age culture, but they did not discover what was most sought—a trace of the ape-like stem of mankind, popularly known as the "dawn man."

Prehistoric Animal Found.

But the big thrill of the trip was the finding of the prehistoric animal colossus.

Several of the bones brought back are as large as the body of a modern man. The humerus is four feet long and the collar bone is a full load for a strong coolie. The relics include several splendidly preserved ribs and sections of the spine.

"We left the pelvis bone and several other parts in a clay hillside," said Walter Granger. "We are planning to return and get all of the skeleton."

Twice Jumbo's Size.

Andrews said the beast was about twice the size of "Jumbo," the famous circus elephant of the old P. T. Barnum shows in America, and circus men claimed that Jumbo weighed ten tons. He calculated that he could have worn a top hat and stood under the great beast without touching its belly.

Granger declared the discovery was the greatest in his 32 years of scientific experience. He said the beast was a vegetarian, eating chiefly the smaller branches of trees. It was of distinctly Asiatic origin and was too heavy and awkward to travel far.

"The beast lived on the fat of the lang of its birth," he explained. "It grew larger and larger with each succeding generation until after a million years it became so roly-poly that it could no longer navigate. It finally gave up the ghost, having eaten itself out of existence because it was too enormous for any earthly use."

Show Pride in Fossils.

Andrews and Walter Granger, chief paleontologist of the party, exhibited the fossils with a pride which they made no effort to conceal. The specimens were wrapped in splints and gauze and bound with strips of tape. Each looked as if it had just come from the operating room of a modern hospital. They were shown to the newspaper reporters of Peking, but only the explorers were allowed to handle them.

Sand was the great enemy of the expedition, and came more nearly to halting it than did the brigands. Andrews, who is no tyro in Mongolian exploration, said the weather was the worst he had ever encountered. Late in May and all through April they were besieged day and night for six weeks by terrific sandstorms.

Beset By Brigands.

Brigands beset the explorers early in their drive westward from Kalgan in the northwest section of this province. The marauders appeared in the guise of friendly soldiers and invited the exepdition to a tea party.

But the ruse did not work, for when the motorized caravan rolled up to the spot selected by the brigands, the chauffeurs were stepping on the gas and every man who had his hands free grasped a loaded rifle. The brigands mounted horses and gave chase, but were quickly outdistanced.

Find New Fossil Area.

The expedition drove westward from Kalgan into the heart of the desert and then worked northeastward to the region of Erhlien, where the most interesting discoveries were made. There they found a new fossil area in ancient lake beds and east of Ehrlien they came upon the traces of the oldest inhabitants.

These people are known to the scientists as "dune dwellers." Thousandsd of relics of them were found, showing numerous phases of a stone age culture of 20,000 years ago. The country was more thickly populated then than now and the climate was different too. There were trees and lakes and plentiful annual rainfall.

Crude Implements Found.

The crude implements showed that man was then beginning to accomplish with stone results that formerly were done solely with hands, and in the same locality where traces of humans dating back 150,000 years had been found previously. The stone age race extended from Siberia to China. It was a rough tribe, but evidently post-dated the "dawn men."

Bones showed that the race subsisted chiefly on birds and frogs and traces of a breed of horses or donkeys indicated that they used beasts of burden.

Women Wore Necklaces.

Women adorned themselves with necklaces of fox teeth and wore bone rings on their fingers or in their ears. For weapon the men had stone knives and arrow and spear heads of flint and agate. They pierced these with stone drills.

"These people were wonderfully clever," said Andrews. "They lived apparently in a transition period between the old and new stone ages. The countryside was saturated with people and they hunted in the wood, fished in the lakes and streams and built shelters in the dunes of skins barks and timbers. There are great areas of traces of these people, who lived thereabouts for thousands of years."

The relics and fossils are being arranged in the workrooms of the expedition in this city, where the scientists will study them this autumn and winter.

COMING SOON

Katsuji Debuchi

Katsuji Debuchi, newly appointed Japanese Ambassador to Washington, who is scheduled to arrive here early in October aboard the N. Y. K. Line's Shinyo Maru. Debuchi may, however, take an earlier vessel in view of the Japanese government in this country at the earliest date possible.

PASTOR WILL PUBLISH BOOK

Rev. Sekiguchi Will Write History of Christianity

CORTEZ, August 16.—(Special)—Rev. Nobara Sekiguchi, pastor of the Japanese Presbyterian church of this city and author of a short history of Japan which he published early this year, will issue another history which will deal with the rise and fall of early Christianity in Japan and the struggles of the Christian martyrs who endured the Tokugawa persecution.

Sekiguchi, who has taken a post graduate course at the Pacific School of Religion at Berkeley, issued his previous history through the cooperation of Dr. Saunders, eminent authority on Oriental religion. His present history will cover the period from the introduction of Christianity some 400 years ago to the present time. He plans to issue 1000 copies in the first printing.

LOCAL WRESTLERS TRAIN FOR SUMO TOURNAMENT

San Francisco's formidable body of young wrestlers, the pride of the Japanese community here, are now conducting vigorous practice in the specially constructed wrestling arena in the basement of the Kikugawa Tei on Geary street for the Northern California Sumo Tournament to be held in here Sunday and Labor Day, September 2 and 3.

Almost a score of young men, the flower of the second generation, who are being coached by Hanakabuto, veteran professional "rikishi" on Nippon, are today confident that they will carry off in triumph the handsome silver trophy which will be the prize at stake for the Labor Day event. The cup is donated by The Japanese American News and the New World News.

The "dohyo" or arena, around which the vast throng from the Bay cities will assemble to see the youths engage in the contest of strength and skill, which will be constructed in the rear of the Aoki Taiseido Book store on Post street. Construcion work will begin in the near future, and some 1500 spectators are expected to be accomodated.

With picked teams from practically every Japanese community of consequence in northern California participationg, the tournament is expected to be one of the most thrilling sporting spectacles ever held here. Fresno, San Jose, Sacramento and San Francisco are some of the leading centers which will be represented with strong delegations.

A novel feature of the forthcoming "taikai" will be the appearance of the junior group of wrestlers as curtain raisers. Already more than a dozen ambitious youngsters, ranging between the ages of 12 and 15 are showing their mettle.

Coach Hanakabuto says they are an exceedingly lively and clever bunch of "sumo" artists, sprightly in action and quick to learn.

The tournament is being sponsored by the newly organized Sumo Association of San Francisco, with the support of the Sumo League of Northern California. Other tournaments have been held in Fresno, Sacramento, and San Jose, but this is the first time in several years that San Francisco has held a "taikai." For this reason the various business organizations of the Japanese community are cooperating to make this affair a memorable one.

NEW TREATY BETWEEN U. S., JAPAN IS NEAR

WASHINGTON, August 18.—Negotiations between Japan and the United States for concluding a new arbitration treaty are proceeding satisfactorily, it has been stated officially by the State Department, and it is expected that the treaty will be concluded in the near future. The Root arbitration treaty, concluded in 1908, expires on August 24, and it is hoped that the new treaty will be concluded by that date or shortly afterward.

Although Japan has asked for definitions of some of the terms in the treaty, it was stated officially, that she has raised no question regarding a Japanese Monroe Doctrine for Manchuria as has been reported in the Japanese press. These reports stated that Japan was anxious to exclude from arbitration all disputes pertaining to the Asiatic mainland in the same manner that the United States excluded from arbitration all disputes conflicting with the Monroe Doctrine.

HAWAII CHIEF TALKS TO 2ND GENERATION

Youths Aren't Being Driven To Plantations, He Says

HONOLULU, August 15.—There is no industry in the world that makes itself to suit the whims of individuals.

To say this and that should be done in industry is one thing and to manage it is quite another thing. Nobody is attempting to drive the Orientals back to the plantations. What is being done is to open up opportunities for them.

Governor Wallace R. Farrington, chief executive of the territory, speaking before delegates to the Conferenec of New Americans at their closing luncheon at the Y.W.C.A. yesterday, made these remarks as a personal reaction to the statements made at local gatherings regarding the back-to-the-soil movements. A delegate to the New Americans' Conference, at one of the sessions, had stated that young citizens of Japanese ancestry would not be attracted to the plantations unless conditions, including wage considerations, were made more attractive. An American citizen of Chinese ancestry, attending another conference, said that the Chinese youths are not going to be driven back into the sugar industry.

No Coercion.

"The fact is that you are not being driven back to the plantations," Governor Farrington said. "If you thing you are being driven back into the sugar industry you have the wrong slant. What is being done is to open up opportunities for you."

Regarding opportunities for educated, hard-working people on the plantations, the governor mentioned the case of a college graduate from Maine and of a young man named Imai of Libby, McNeill & Libby who are "making good." Imai, he said, is in charge of engineering works of the pineapple plantations. He has found and made use of the opportunity.

"So the question is whether one sees the opportunity or not," the speaker said.

"It has been stated that young people will work on the plantations if conditions would be made sufficiently attractive," the governor went on to say. "There is no industry in the world that makes itself to suit the whims of individuals, It is always easy to control and manage industry from the outside. But things are different inside."

JAPAN TRAINS FACE BATTLE WITH TRUCKS

Auto Invades Long Distance Service In Nippon

NAGOYA, July 28.—(By Mail)—The marked development of the motor truck transportation is now proving to be a serious threat to the railway transportation business.

The motor truck transportation has hitherto been limited to comparatively short distance, that is to less than 150 miles. The motor truck transportation between Takayamacho, Gifu Prefecture, and this city, covering 120 miles has been one of the longest motor truck services in Japan. Among other long distance services is the line connecting Hachioji, Tokyo Prefecture, and Matsu-ura, Chiba Prefecture, the total length being approximately 80 miles, and the Nagoya-Hamamatsu line, covering 80 miles also.

A record-breaking long distance motor truck service in Japan, however, has been started a few days ago. It is the Hachioji-Nagoya service for the purpose of forwarding cotton cloths, produced in Hachioji district to Nagoya and vicinity. The new long distance service is managed by the Hachioji Motorcar Company which has placed four trucks for the Hachioji-Nagoya express service.

Takes About 24 Hours.

The trucks start from Hachioji and pass through Otsuki and Gotemba in Yamanashi Prefecture and then proceed on the Tokaido highway, the total length covering more than 220 miles. This has attracted the keenest attention of the transportation companies.

The capacity of these trucks is one ton, and the charges are from 40 yen to 53 yen per truck. It takes about 24 hours to cover the distance. According to railway transportation, it takes from 36 to 48 hours, but the charges are somewhat lower, being 28.05 yen per ton.

It is looked upon with keen interest how far the competition betwee nthe railway and motor trucks will go, especially in view of the recent rapid development of motor truck transportation. The railway service must be improved in order to cope with the motorcar transportation and the charges also must be lowered, if the competition is to proceed further.

JAPAN

And Things Japanese

Japan and Things Japanese, a section devoted to present-day news and views and ancient facts, regarding the Japanese people and their country is a regular feature of the English Section.

STUDENT IDEALS IN JAPAN

(Continued from yesterday.)

In other words, the ideals of the members of the Social Science movement have become socialistic in a broad sense. Certainly it is not an organized movement by the student; it does not carry any definite platform or theory; but the root of it is socialistic, because it reflects the labor movement outside the university campus which also is socialistic.

Naturally the movement alarmed the government and the school officials and the former ordered the dissolution of the meetings of the students of social science at all the highest schools for fear that the young men would be infected with "dangerous thoughts" if meetings of the students of this kind were allowed. However, with the idea that the suppression of the freedom of thought would bring about an untoward result, the government has not so far interfered with university students studying social science in the sense above mentioned.

Despite the Government's efforts to check the socialistic tendencies, the movement encouraging study of social science in the university campus and without seems to have been spreading. At the same time, the significance of the movement seems to have been changing and its future cannot be forecasted here. For the mind of the student is so susceptible that it will receive any new idea which is suggested. If there occur any change in social life or thought the students immediately follow it.

It was quite natural, when the radical element of the students became socialistic, though rather vaguely, so that there should arise antagonistic ideas among the conservative or reactionary students. The latter rallied under banners labeled "Japanism," "Classicism," or "Orientalism," having varied contentions. Although they, too, were idealists and in some sense looked as if they were even protestors against education of the old type, they did not seem to have organized themselves under any system of uniform idealism.

American Girl Gymnasts in Germany

U.P.—Underwood.

A squad from the American Olympic team went to Cologne after the Olympic Games were over to participate in the great "turnfest" or athletic meet which was held there. Here are shown the members of the American team before the start of the meet.

SMITH TALKS IN BERKELEY

Students Will Be Welcomed Back From Vacation

BERKELEY, August 16.—(Special) For the purpose of welcoming students who were away on their vacation and others who are coming to the university for the first time, the Japanese M. E. church of this city, at 2119 Channing Way, will hold a special young people's service Sunday morning at 11 o'clock in the church chapel.

The main speaker will be Dr. Frank Herron Smith, superintendent of the Pacific Coast Japanese Mission of the Methodist church. He will deliver an inspiring message on the subject, "Leaving Nazareth—Leaving home." Being a student of the problems of the second generation and a long resident in Japan, where he has acquired a knowledge of the Japanese language and an understanding of the people, Dr. Smith is expected to deliver a timely sermon before the congregation.

Prior to his arrival in this country to take up his position as head of the Japanese Mission, Dr. Smith was leader of the Methodist missionary work in Korea. He has also occupied an important post in Japan. Because of his eloquence and his sense of humor, he has been very popular among the second generation young people who have had occasion previously to hear him speak at various conferences and gatherings.

Another feature of the program will be the musical selections which will be rendered by talented members of the church. A large attendance of young people is expected to attend this service.

800 TICKETS SOLD

The San Francisco Jitsugyo Kai (Japanese Business Men's Association) reported yesterday that 400 tickets were sold at the gate and an equal number of tickets were sold in advance during the recent baseball Taikai.

Track and Field Tournament May Be Held In Fall

The Japanese Association of San Francisco will hold a track and field championship meet of Northern California athletes in commemoration of the Imperial Coronation in November, if the plans under way are successfully shaped into definite shape.

Nothing has yet been definitely decided on, but the plans are being welcomed, this being an Olympic year.

Another plan now under consideration is an exhibition of manual art and literary works and drawings by the children.

FETE IN L.A. AIDS KIDDIES

Benefit Program to Be Given August 24 and 25

LOS ANGELES, August 17.—(Special)—Final preparations are under way for a huge entertainment to be given for the benefit of the Japanese Children's home on the evening of August 24 and 25 in the Union church on north San Pedro street.

The feature of the program will be a photoplay "Over the Hill," a 12-reel production starring Mary Carr, which proved to be a sensation some years ago. Although great advances have been made in the industry since this picture was filmed, "Over the Hill" is still having popular runs due to its tremendous human appeal.

Another feature of the program will be a chorus, to be conducted by a group of some 30 tots of the Children's Home, who have been practicing for some time in order to present an accomplished performance.

THESE NOTABLE PEOPLE WILL SPEAK TO YOU

The Japanese American News, in sponsoring a lecture meeting at the local Reformed Church on Post St. on the evening of Saturday, August 25, has arranged to have three notable speakers address its readers. They are:

MR. E. P. HUNT
DR. HUGO H. GUY
PROF. P. W. NAHL

Besides these speakers, a program of entertaining musical numbers is is promised. A number of second generation youths will assist us in making our meeting a success. You and your friends are cordially invited.

DON'T MISS THIS UNUSUAL EVENT

U.S.C. TEAM BACK AGAIN

Trojans Return To S. F. From Trip To Japan

The University of Southern California baseball nine which invaded the "Land of the Rising Sun" on a three months' baseball tour, returned yesterday aboard the Siberia Maru in high spirits. Winning 15 games out of 27 played, the Southern Californians claim the best record of any American team to tour the Japanese Empire.

No odds handicapped the invading players and they were in perfect condition after losing their "sea legs," according to Dr. Bruce Baxter, accompanying professor.

According to Dr. Baxter, the Japanese have developed baseball to such an extent that they can easily "hoid their own" against any American university or college team. The game of baseball has especially developed to a noticeable extent in the past two or three years, Dr. Baxter continued.

Baseball is taken more seriously in Japan than in America, the main end being victory with less emphasis on pleasure. This does not mean that the Japanese are poor sportsmen, according to the professor, "No 'crabbing' and booing is seen or heard throughout the game and the umpire's word is usually final."

Good sportsmanship is also seen in the grand stands, where the atmosphere of the American fan is altogether lost. No yelling and coaching is heard, it being replaced by the mere "glad hand" which carries the same views of the audience to the players as does the American style of oral expression.

The weak point of the Nipponese ball player is the absence of long hits, says Dr. Baxter, presumably due to the dwarfed stature of the Japanese as compared to the American players. Although weak in hitting, the Japanese are very efficient base runners, being alert to all plays and using the opposition's errors to their own advantage.

Large crowds are prevalent throughout Japan, in some instances as many as 50,000 attending a single game. The U. S. C. nine played in a Kobe ball park capable of accomodating 100,000 fans, showing the extent of interest which prevails in Japan.

Among the many colleges played are Waseda and Keijo.

Many clubs and private teams such as the Tokyo Club, Old Yokohama, Daimai, Takarazu, Monk Club, Jitsugyokai, and the Kyushu Steel works played against the visitors.

N. Y. K. LINE TO BUILD 2 NEW SHIPS

The Nippon Yusen Kaisha decided at its directors' meeting to construct two 10,000 ton Diesel engined boats, which will be placed on its European lines. Order of construction will be placed shortly with the Nagasaki Dockyard of Mitsubishi. They will be completed within 25 or 27 months, after laying down the keel. The construction of these boats had been planned some time ago, and the concern decided to place the order with some Japanese shipyard, instead of a British shipyard as was originally intended, although the cost of construction at home will be about 20 percent higher than in Britain. All the cost required will be appropriated from its reserve funds.

CHINA-JAPAN WAR CLOUDS VANISHING

Chinese Minister Calls On Foreign Office

TOKYO, August 16.—(UP)—The situation between Japan and the Chinese Nationalist government was cleared somewhat today when China indicated her willingness to withdraw here abrogation of the commercial treaty with Tokyo.

The Chinese minister called at the foreign office and announced his government's attitude. He intimated that the Nationalists were willing to proceed with revision of the treaty.

All that Japan wants in Manchuria is to insure that trade and commerce may continue unhampered, we are told,andthather legitimate intrests are in no way jeopardized. This downright statement is made by an American-owned Tokyo newspaper, The Japan Advertiser, which adds that the simplest and at the same time the cheapest way to do this is to see that some Chinese ruler, who is able to maintain a reasonable degree of peace and order is in power. Japanese statesmen are fully alive to this, it is averred, and therefore it is hardly conceivable that they would deliberately go out if their way to seek for trouble by exploiting the situation in order to make territorial gains. We read then:

"It is not without significance that, whereas the vernacular press and the country as a whole showed a praiseworthy calmness toward developments in the Shantung situation, and were far from approving the original dispatch of troops to Tsingtao, public opinion has shown a tendency to become excited over events in Manchuria. The reason for this difference in attitude is not far to seek. Shantung, thoug by no means unimportant, is not vital to Japan. Manchuria, on the other hand, is so closely wrapped up with the political, economic and strategic interests of the country that the mere suggestion of the outbreak of disorder and chaos in those regions is sufficient to set the whole Japanese nation on tenterhooks, so alive are they to the important bearing it has on the life and welfare of the country at large."

There was a time, The Japan Advertiser goes on to say, when Manchuria was important only on account of its strategic aspect, in which regard it bore much the same relation to Japan as Afghanistan bears to India this day. Japan's only fear in those days, we are advised, was that some powerful potential enemy might seize it and use it as a base of operations from which to attack her, and it is further alleged that:

"It was this fear that led certain Japanese in the closing years of the Tokugawa period to advocate its annexation, and it was this same fear that ultimately led Japan to declare war on Russia in 1904. In the years that have passed since her victory over Russia, however, the economic aspect, which formerly hardly existed, has tended ever more and more to become of equal importance and even to surpass the purely military aspect in importance. It is this economic aspect, acting in conjunction with the politico-military bearing, that makes the maintenace of peace and order in Manchuria a matter of such vital importance to the country at large.

"In the days before Japan started to develop her industries, and while she was still primarily an agricultural nation, it mattered little that nature has treated her so niggardly in the matter of raw materials; but the industrialization that has been such a feature of the past few decades has opened her eyes to the necessity of obtaining the raw material for her factories from the nearest possible source. Manchuria can supply a large portion of her requirements and, at the same time, thanks to the immense flow of immigrants from other parts of China in recent years, it offers the prospect of a rapidly expanding market for her manufactured goods. From the economic standpoint alone the importance of Manchuria to Japan may be said to increase year by year. It is not surprising, therefore, that public opinion, as reflected by the vernacular press, should be so concerned whenever the specter of civil strife and commotion appears to threaten the vital interests of Japan in those parts."

Suspicions regarding Japan's intentions, we are further informed, are frequently voiced, but so long as there is a Chinese ruler strong enough to control the Three Provinces and maintain peace and order, it is obviously to Japan's advantage to leave things in statu quo."

THE WEATHER

Official forecast:

Sunday, Fair and mild, with fog in San Francisco tonight. Moderate to fresh westerly winds.